



第 2 回東西日本強磁場科学研究会プログラム

(第 11 回西日本強磁場科学研究会)

Schedule of the 2nd meeting on high magnetic field science in east & western Japan

(The 11th meeting on high magnetic field science in western Japan)

日時：令和 6(2024)年 9 月 19 日 (木) 13:00~18:20

Date & Time: Sep. 19 (Thu.), 2024, 13:00~18:20

場所：北海道大学大学院理学院 5 号館 206 室。

Venue: Hokkaido University, Graduate School of Science, Building5, Room206

参加登録費：無料

趣旨

大阪大学大学院理学研究科附属先端強磁場科学研究センター、神戸大学分子フォトサイエンス研究センター、福井大学遠赤外領域開発研究センター、大阪公立大学強磁場環境利用研究センターの 4 センターが結んだ相互連携・協力「西日本強磁場 KOFUC ネットワーク」の協定書に則り、今後の研究協力、共同研究を議論するために本研究会を行う。

主催：西日本強磁場 KOFUC ネットワーク

共催：北海道大学大学院理学院物性物理学専攻、KBK(高出力遠赤外光・分子物質科学)研究会

口頭発表 Oral session (講演 25 分 (招待)・15 分 (一般) + 質疑応答 5 分)

Session-1 (座長：鳴海康雄 Chair: Y. Narumi)

13:00-13:05 はじめに 鳴海康雄 (大阪大学理学研究科附属先端強磁場科学研究センター)

Opening, Yasuo Narumi (AHMF, Grad. Sch. Sci., Osaka Univ.)

(1-1) 13:05-13:35 「強磁場領域における熱力学の理解を目指して

-磁場発生技術の開発からその応用まで-」(招待講演)

小濱芳允 (東京大学物性研究所)

“Toward understanding the thermodynamics in high magnetic fields -development of field generation technique and its application-”, (invited)

Yoshimitsu Kohama (Institute for Solid State Physics, The University of Tokyo)

(1-2) 13:35-14:05 「パルス磁場中 NMR 測定により拓かれる量子磁性体の強磁場磁性」(招待講演)

井原慶彦 (北海道大学大学院理学院)

“High-field quantum magnetism probed by pulsed-field NMR spectroscopy”, (invited)

Yoshihiko Ihara (Graduate School of Science, Hokkaido University)

(1-3) 14:05-14:25 「キラル磁性体 TTa_3S_6 におけるキラル磁気ソリトン格子の観測」

高阪勇輔 (大阪公立大学工学研究科)

“Chiral Soliton Lattice in TTa_3S_6 (T = Cr or Mn)” ,

Yusuke Kousaka (Dept. Phys. Electro., Osaka Met Univ.)

14:25-14:35 休憩 Break

Session-2 (座長：藤井裕 Chair: Y. Fujii)

- (2-1) 14:35-14:55 「パルス強磁場下での高圧力物性測定の現状と展望」
木田孝則 (大阪大学理学研究科附属先端強磁場科学研究センター)
“Current status and future prospects of high-pressure physical property measurements in pulsed high magnetic fields” ,
Takanori Kida (AHMF, Grad. Sch. Sci., Osaka Univ.)
- (2-2) 14:55-15:15 「高出力波光源ジャイロトロンを用いたミリ波帯磁気共鳴装置の開発」
石川裕也 (福井大学遠赤外領域開発研究センター)
“Development of millimeter-wave band magnetic resonance system using a high power wave source gyrotron”,
Yuya Ishikawa (FIR Center, Univ. of Fukui)
- (2-3) 15:15-15:35 「強磁場中での有機磁性体の量子物性」
細越裕子 (大阪公立大学強磁場環境利用研究センター、大学院理学研究科物理学専攻)
“Quantum magnetic properties of organic radical crystals in high magnetic fields” ,
Yuko Hosokoshi (RC-UHMF, Dept. Phys., Osaka Metro. Univ.)

15:35-15:45 休憩 Break

ショートプレゼン Short presentations (講演 7 分 + 質疑応答 3 分)

Session-3 (座長：大久保晋 Chair: S. Okubo)

- (3-1) 15:45-15:55 「正方晶 $\text{FeSe}_{1-x}\text{S}_x$ の渦糸液体状態と超伝導揺らぎ」 田中薫 (岡山大学)
- (3-2) 15:55-16:05 「ウルトラノーダル状態を示す鉄系超伝導体 $\text{FeSe}_{1-x}\text{S}_x$ の超伝導ギャップ構造」
北西優弥 (岡山大学)
- (3-3) 16:05-16:15 「ハニカム格子反強磁性 $(\text{Cu}_{1-x}\text{Zn}_x)_2(\text{pymca})_3(\text{ClO}_4)$ の強磁場磁性」 井上祥 (大阪大学)
- (3-4) 16:15-16:25 「らせん磁気構造を示す三角格子磁性体 NiBr_2 の強磁場磁性」 山下慧 (大阪大学)
- (3-5) 16:25-16:35 「ニトロキシドラジカル量子スピン系の 40 T、1.2 K におけるパルス強磁場磁化測定」
辻林実莉 (大阪公立大学)
- (3-6) 16:35-16:45 「フラストレート磁性体 $\text{MCu}_3(\text{OH})_6\text{Cl}_2$ (M = Cu, Ni) の磁性」 小島駿平 (福井大学)
- (3-7) 16:45-16:55 「クロミック材料 CuMoO_4 のマイクロ波加熱合成と強磁場磁化過程」
岩本拓馬 (福井大学)

(座長：木田孝則 Chair: T. Kida)

- (3-8) 16:55-17:05 「電子スピン共鳴測定のための超小型共振器の開発」 倉知豊 (福井大学)
- (3-9) 17:05-17:15 「ミリ波帯コンパクトジャイロトロン光源を用いたパルス磁場 ESR 装置の開発」
川喜田圭祐 (福井大学)
- (3-10) 17:15-17:25 「ミリ波パルス ESR によるエコー測定のためのダブルパルス成形システムの設計と評価」 片山大和 (福井大学)

- (3-11) 17:25-17:35 「廉価なベクトルネットワークアナライザを用いた摂動法による誘電特性の測定」
照井大和 (福井大学)
- (3-12) 17:35-17:45 「メタホウ酸銅 CuB_2O_4 の ESR 測定」 松村高弥 (神戸大学)
- (3-13) 17:45-17:55 「 $S = 1/2$ 量子磁性体 $\text{C}_9\text{H}_{18}\text{N}_2\text{CuBr}_4$ の ESR による研究」 濱田優翔 (神戸大学)
- (3-14) 17:55-18:05 「ペロブスカイト酸化物 $\text{Bi}_{0.5}\text{Pb}_{0.5}\text{CoO}_3$ の ESR 測定」 石井俊介 (神戸大学)
- (3-15) 18:05-18:15 「黒リンの圧力下 THz サイクロトロン共鳴による研究」 鍋田百花 (神戸大学)

18:15-18:20 おわりに 太田仁 (神戸大学分子フォトサイエンス研究センター)
Closing, Hitoshi Ohta (Molecular Photoscience Research Center, Kobe Univ.)

19:00- 親睦会

会場 キリンビール園アーバン店 <https://www.kirinbeer-en.co.jp/>

メニュー ジンギスカン食べ放題+飲み放題 (100分)

会費 教員 6,600円 学生 5,000円 (ソフトドリンク飲み放題 -1,000円)

アクセス 地下鉄南北線「すすきの駅」から徒歩3分

※隣はウインズ札幌、道路を挟んで向かいのノルベサが目印です。

